



御 所 市

議会だより

No.

9

2026年9月発行



ラグビーフェスティバル開会式(令和8年7月19日)

令和8年6月定例会

- 議案概要結果…………… 2～3
- 厚生建設委員会…………… 4～5
- 一般質問…………… 6～10
- WEB アンケート結果の公表
広報広聴委員会とは…………… 11

- 市民意見交換会
なら御所音夢フェス
編集後記…………… 12

市議会だよりについて
WEB アンケートの
ご協力をお願いします



令和 8 年御所市議会 6 月定例会

令和 8 年御所市議会 6 月定例会 結果



令和 8 年 6 月定例会を、6 月 1 5 日から 6 月 2 4 日の日程で開催しました。
一般質問に続き、厚生建設委員会を開催し、議案の審査を行いました。

議会中継の録画を
ご覧いただけます

議案番号	議 案 名	概 要	議決結果
報第4号	御所市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	軽自動車の購入時に課税されていた軽自動車税の環境性能割の廃止。(従来の軽自動車税は引き続き課税。)	
報第5号	御所市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	○子ども・子育て支援金制度の創設。 [所得割税率] 0.31% [均等割] 1,900円(18歳以上均等割200円を含む) [限度額] 30,000円 (例) 年収400万円の場合 4,000,000円×0.0031+1,900円=14,300円 ○低所得者に係る均等割額及び平等割額の軽減措置 [5割軽減基準額] 43万円+{10万円×(給与所得者等の数-1)}+31万円×被保険者数 [2割軽減基準額] 43万円+{10万円×(給与所得者等の数-1)}+57万円×被保険者数	原案承認
報第6号	御所市印鑑条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	マイナンバーカードと在留カード等が一体化された「特定在留カード」「特定特別永住者証明書」の導入に伴い、コンビニ交付サービスに関する規定の整理。	
報第7号	令和7年度御所市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告について	物価高騰対応ひとり親家庭応援手当給付事業。 [県費] 7,594,000円	
報第8号	令和7年度御所市繰越明許費繰越計算書の報告について	主な繰り越し事業 御所駅周辺整備、複合施設整備、防災行政無線整備、防災交流館駐車場整備など。27事業 [繰越額] 1,117,124,000円	報告のみ
報第9号	令和7年度御所市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	管渠整備事業。 [金額] 78,910,000円	
報第10号	令和8年度御所市学校給食費特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	学校給食事業において収支不足が生じたため、不足額を一般会計から補填する。 [金額] 2,697,000円	原案承認
報第11号	放棄した債権の報告について	給料等過払い返還金。 [金額] 194,526円 会計年度任用職員が病休等で長期間休業したまま、所在不明となり、徴収できる見込みがないため。	
報第12号	議決により指定した専決処分の報告について	①損害賠償請求事件に係る和解 雇用契約を結ぶ際に、御所市が相手方に期末手当及び勤勉手当が支給対象外となることについて明確な説明ができていなかったための訴訟。 [和解金] 30万円。 ②小学校2年生の交流事業の際に、各校でインフルエンザにより学級閉鎖が相次いだため、事業中止によるバスキャンセル料。 [金額] 44,504円 ③市道上の事故の損害賠償 [金額] 310,000円	報告のみ
議第30号	御所市税条例の一部改正について	①住宅借入金等特別税額控除 適用期限を令和25年度まで延長し、令和12年までに居住を開始した場合に適用する ②固定資産税の免税点の見直し [家屋] 20万円⇒30万円 [償却資産] 150万円⇒180万円	原案可決

議案番号	議 案 名	概 要	議決結果
議第31号	御所市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償の額の変更。315,000円⇒330,000円	原案 可決
議第32号	令和8年度御所市一般会計補正予算（第1号）について	居宅介護支援事業所に対して、賃上げ・職場環境改善支援のための補助を行う。 [県費] 251,000円 【厚生建設委員会 参照】	
議第33号	御所市道路線の廃止について	御所31号線、御所37号線、御所38号線の廃止。 【厚生建設委員会 参照】	
議第34号	防災交流館駐車場整備工事請負契約の変更について	[増額] 19,659,200円 [請負金額] 249,559,200円 [請負業者] 株式会社 葛建設 主な変更事項 路盤工及び土工の追加、擁壁の化粧仕上げ、目隠しフェンスの設置、ブロック積工の中止及び既設擁壁の取り壊し 【厚生建設委員会 参照】	
議第35号	御所市監査委員の選任について	和田 正吾（わだ しょうご）氏の選任。 [任期] 令和8年7月1日～令和12年6月30日	原案 同意
議第36号	御所市固定資産評価審査委員会委員の選任について	圓岡 淳弘（まるおか あつひろ）氏の選任。 [任期] 令和8年7月28日～令和11年7月27日	

組合議会報告



やまと広域環境衛生事務組合

5月19日にやまとクリーンパークにて、令和8年5月やまと広域環境衛生事務組合議会臨時会が開催され、南満議員が組合議長に選出されました。



奈良県広域水道企業団議会

5月20日に奈良県議会本会議場にて、令和8年5月奈良県広域水道企業団議会臨時会が開催され、川田大介議員が企業団議長に選出されました。



奈良県葛城地区清掃事務組合

5月25日にアクアセンターにて、令和8年5月奈良県葛城地区清掃事務組合議会臨時会が開催され、南満議員が組合議長に選出されました。

特別委員会が設置されました

6月24日の本会議において、以下二つの特別委員会設置に関する議案が提出され、全会一致で可決されました。

◇議会議案第7号・第8号 提出者：川本雅樹議員 賛成者：新川理江子議員

いずれの特別委員会も、調査が終了するまで議会閉会中も委員会を開催し調査を行います。



近鉄・JR 御所駅周辺整備特別委員会 (議会議案第7号)

（設置理由）近鉄・JR 御所駅周辺整備事業について、これまでに行われた調査・審議経過及び最終報告（令和5年2月から令和8年3月までに計15回委員会開催）の内容を踏まえ、中心市街地の再生、市民生活の利便性向上及び持続可能なまちづくりの観点から、事業の進捗状況、課題及び将来的な方向性について調査研究し、必要な提言を行うため、6名の委員をもって構成する「近鉄・JR 御所駅周辺整備特別委員会」を設置し調査を行います。

◎委員長 齋藤 聡 委 員 奥 聡 田中曜平
○副委員長 丸山 誠 新川理江子 松浦正一



地域公共交通に関する特別委員会 (議会議案第8号)

（設置理由）本市において、急速に進む人口減少及び少子高齢化並びに市民生活を取り巻く移動環境の変化を踏まえ、市民が安心して生活できる持続可能な地域公共交通のあり方について調査研究し、必要な提言を行うため、6名の委員をもって構成する「地域公共交通に関する特別委員会」を設置し調査を行います。

◎委員長 生川真也 委 員 奥 聡 片上公美
○副委員長 杉本延博 中谷文雄 南 満

厚生建設委員会

主な質疑

委員

課長

議第33号「御所市道路線廃止について」

委員

委員 御所市道31号線、37号線、並びに38号線について、今後はどのよ

部長

審木

委員

課長

課長

副市

副市

課長

課長

委員

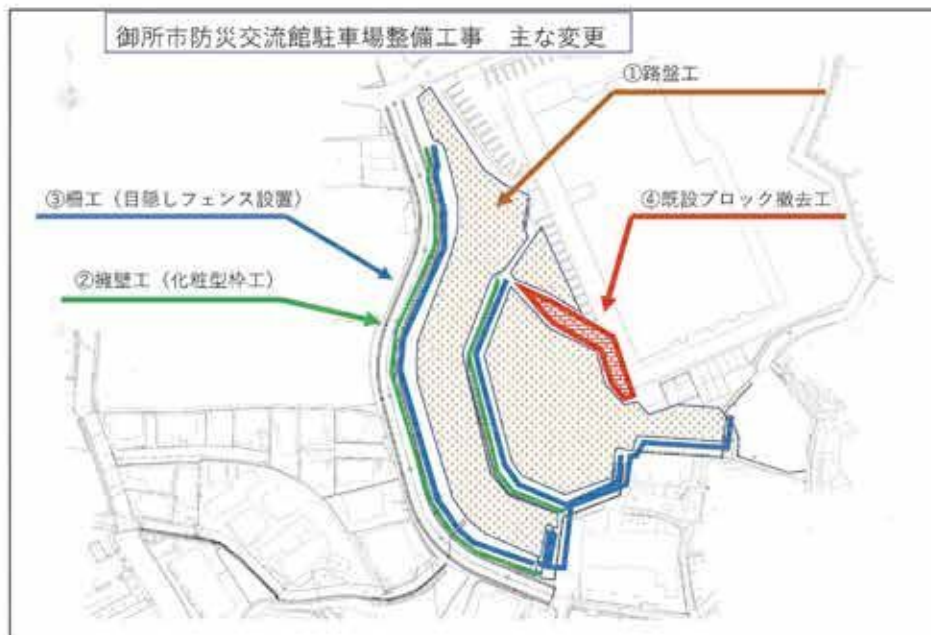
号は、

(文責)丸山 誠

議第33号



議第34号



一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問う
ものです。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です。

映像配信は、市議会ホームページからご覧いただけます。

掲載している内容は、質問者自身が要約したものです。

市政を問う 一般質問



議事録は
コチラ



地震が起こった！市役所はどう動く？ 市役所内の働き方改革！ 全部で7項目の質問を取り上げました



一般質問



丸山 誠

丸山 令和8年5月2日に発生した地震において、市営住宅のエレベーターが16時間以上止まっていた事例について、市民の方からの情報を待ったわけではなく、自ら決められた場所の点検などは必要ではないでしょうか。マンションタイプの市営住宅や県営住宅について、またそのほか避難所となるような公共施設、学校、保育所、そういった施設について、地震発生後に現地に赴き、異常がないか調査する必要があるのではないのでしょうか。

部長 今回の震度4の地震の情報収集におきまして、被害の報告が入っていないか、被害の状況で、避難所の開設は行っていないか、避難所を開設していませんので、点検までは至っていないという状況です。

丸山 これから余震が起こるかもしれないと、そのような案内もテレビやネットでされていると思います。震度4だから、安全だから、もうないだろうという判断でやるんではないかと、何かあったときのために準備として検査、点検

市長 資格取得の奨励制度と併せて、人事評価の仕組みとセットで考える部分も必要というように思っています。業務を履行するに当たって必要な資格というものは、担当課で算化をして取っていただいているという現状で、プラ部分については、職員の意欲であったり、取りたい人もあれば、今は、ご自身の状況も踏まえてちよつと勉強に費やしている時間がないという方もいらっしゃると思います。総合的に勘案をして、職員の意見を聴取できる仕組みも併せて検討していきたいなというように思っております。

等はいく必要があると思います。エレベーターが長時間止まるようなことが、今後ないよう動いていただきたいと思っています。

一般質問



「新しい学校づくり」についてハード・ソフト両面から問う



齋藤 聡

新しい学校施設整備と都市計画上の課題について

齋藤 新しい学校づくり基本計画では、学校施設の規模が示されている一方、計画地には高度地区による高さ制限がある。この課題を市はどのように認識しているのか。

事務局長 教育環境や防災機能を確保しながら、都市計画上の規制との整合を図ることは重要な課題と認識しています。基本設計の中で建物配置や高さを精査し、関係部局と連携しながら整理を進めてまいります。

齋藤 都市計画部局は、この課題をどのように考えているのか。

部長 教育環境の充実が重要ですが、高度地区による高さ制限との整合には課題があります。周辺環境や景観への影響も確認し、建築計画の見直しを含め、最適な手法を検討してまいります。

齋藤 教育環境の質の確保と都市計画制度をどのように両

立させるのか。

市長 都市計画上の制約を理由に教育環境の質を下げるべきではありません。一方で、都市計画制度の趣旨も尊重しなければならず、両立を図りながら適切な手続きを進めてまいります。

新学習カリキュラムについて

齋藤 新学習カリキュラムでは何が変わるのか。

教育長 市内全校で学習内容や副教材、評価基準の統一を進めることで、学校間連携や教員同士の学び合いを促進し、教育の質の向上を目指します。

齋藤 学習カリキュラム統一の進捗は。

教育長 教科ごとに指導時期や副教材の統一を進めていますが、学校教育ビジョンで示した統一カリキュラムは現在も整備を進めている段階です。教員間の連携を強化しながら、着実に取組を進めてまいります。

齋藤 現在の子どもたちが抱える小規模校化・少人数化の課題は待ったなしであり、新しい学校の開校を待つのではなく、教育委員会がより強いリーダーシップを発揮し、学習カリキュラムの統一をはじめとする教育改革を着実に前へ進めることを強く求める。

一般質問



子どもから高齢者まで安心して暮らし続ける御所市を目指して



新川理江子

若い世代の定着促進について

新川 子育て世代が住みたくなる住宅環境整備や住宅取得支援をさらに進めていくべきかと考えますが、子育てする環境も現実、現状を見て共働きの負担を与えなくても育てやすい環境整備をどのようにお考えか？

部長 本市には、移住・定住の促進を目的とした住宅取得支援制度がございます。

1、民間家賃住宅に住む新婚家賃補助金世帯に家賃を補助する新婚家賃補助金制度。

2、新築または購入により住宅を取得した申請者に補助金を交付する御所市住宅取得補助金。

3、多世代同居を目的としたリフォーム工事に対する御所市多世代同居補助金がございます。

少子化対策について

新川 若者同士が自然に交流できるイベントや地域活動促進など、人と人の繋がりを生み出す取り組みについてどのようにお考えでしょうか。

部長 御所市独自の支援としてチャイルドシート等購入補助金支給、満2歳までの子どもへの紙おむつ用ごみ袋の支給など幾つかの支援実施。多子世代の保育料について国の基準による年齢制限、所得制度を撤廃し、一律第2子半額、第3子無料という市独自軽減実施。令和6年から開始しました子育て支援室「にじいろ広場」での遊び場の提供。

高齢者支援について

新川 高齢者老人サロン活動など、高齢者の自主活動への職員が積極的に出向き、相談や情報提供を行うお考えについて、お聞かせください。

部長 フレイル観点からも重要と認識しております。積極的に寄り添った支援を行ってまいります。

移動支援について

新川 高齢者・障がい者にとって移動手段は生活そのものです。予約なしでも利用しやすい移動支援や地域に応じた送迎体制の充実について、お考えをお聞かせください。

部長 つづじメイトの支援強化を行っております。しっかりとサポートするとともに周知もしっかりと行っていきたくと考えております。障がい者の移動支援につきましては、サービスの提供を必要としている人のニーズに添えられる様提供体制を整えていきたいと考えております。

今後の選挙のあり方とまちづくりについて問う



一般質問



杉本 延博

選挙の投票率向上の取り組みと移動投票所導入の提案
杉本 投票率の減少傾向をどのように捉えているのか。

局長 啓発活動に取り組んできたが、結果として、投票率低下に歯止めをかけるには至っていない。

杉本 高齢者に配慮した移動投票所も含めた投票環境をつくっていただきたい。

局長 選挙権を行使しやすい環境整備に向けて、研究検討を重ねていきたい。

今後のまちづくりについて

杉本 昨年、議論した自治会活動の要望と課題解決について引き継ぎは受けているのか。

部長 引き継ぎは受けている。ライフスタイルの多様化や人口減少等、自治会加入率の低下が課題だと認識している。

杉本 昨年9月議会で提案した自治会加入促進チラシの作成について。

部長 昨年にチラシを作成、配布、市のホームページに掲載した。

載した。

杉本 各自治会の意見、要望、課題等を集約するためアンケートを実施したかどうか。

部長 検討のなかでアンケートも含めて手法を考えていきたい。

杉本 自治会活動支援アプリ等スマホを活用した「自治会DX化」への考えは。

部長 費用対効果、新たな補助金、先進事例を検証、検討していきたい。

杉本 自治会を持続可能にする支援補助メニューを増やす等の考えは。

部長 自助・共助・公助、それぞれの役割を踏まえた行政としての支援を考えていきたい。

杉本 自治会における側溝の清掃と負担軽減等の支援策の考えは。

部長 自治会の状況を踏まえながら、行政として慎重に考えていきたい。

杉本 東御所地区の交流拠点施設の設置に向けた進捗状況は。

部長 引き続き検討している。

杉本 これからのまちづくりについての見解は。

部長 「自助、共助、公助」の考え方を基本に協働のまちづくりを推進していく。

御所スマイルポイント制度と防災情報を音声で入手について



一般質問



中谷 文雄

御所スマイルポイント制度について

中谷 子育てや仕事、そして介護、毎日、本当に忙しい。それでも健康づくりや地域活動に少しでも参加できれば、その小さな行動がお得に変わる。それがスマイルポイント制度。健診を受けたり、市の行事に参加したりしてポイントを貯め、市内のお店で使うことができる制度ができないか。

部長 一般的に自治体が運営しており、市民が自ら行う健康づくり活動やボランティア活動、また、市が行う健康づくり教室などをはじめ、各部署が行う催事に参加された際にポイントが付与するなど活用されております。貯めたポイントは、地域の商店街などで支払いに使える商品券などに引き換えたり、ポイントを直接使用できる仕組みです。導入するメリットは、各部署のイベント等での集客に活用できるほか、住民自らが健康

づくりや地域社会に参画する機会の増大につながると考えています。また、地域にとりましても、小売店での売上げ増に資するなどの効果もあると考えています。

近隣の奈良市や大阪府で行われたポイント制度の取組の成果や課題などの確認を行い、関係部署とも情報を共有し、慎重に研究してまいります。

防災情報を音声で入手について

中谷 防災情報を耳で聴くハザードマップの導入ができないでしょうか。

部長 災害時における情報伝達は、市民の皆さまの生命や財産を守るための要であり、行政として最優先で取り組むべき最重要課題であると認識しております。このような課題に対応するため、御所市防災無線システム整備事業を進めています。今後、提案の趣旨を踏まえ、利用者ニーズや導入効果、費用対効果、先進自治体の事例等を調査研究してまいります。



一般質問



地域の声を観光政策へ、そして移住へと つなげる仕組み作りを



片上 公美

観光政策について

片上 飛鳥・藤原の京都の世界遺産勧告や星野リゾート開業は、御所市をアピールする好機ですが、令和5年に策定された「御所市観光戦略」のその後の取組と、今後の計画を教えてください。

部長 葛城山の登山コース整備や、SNS・プロモーションサイトによる情報発信、観光案内板の充実等を行ってきました。今年度は認知度向上のため「葛城古道ウォークイベント」を計画しています。今後は「観光資源の活用と磨き上げ」「美しい景観の保全と活用」「質の高い観光施設の整備」のコンセプトを軸に、持続可能な観光資源化を継続的に推進してまいります。

片上 ウォークイベントの目的はなんでしょう。

部長 イベントは神社仏閣を巡るだけでなく、発展的で質の高い観光地づくりに繋がるよう検討します。

片上 彼岸花の時期などに観

光客が私有農地に侵入し、地元住民が迷惑している現状もあるので看板設置や駐車場整備など、早急な対応をお願いします。

移住政策と関係人口の創出について

片上 若い子育て世代の移住関心が高まる中、本市のこれまでの具体的な移住政策と実績を教えてください。

部長 平成30年度から「空き家バンク制度」を運用し、累計で登録72件、利用登録615名、成約23件の実績があります。

片上 成約数が少なく感じますが、課題は何でしょうか。また、積極的なアプローチのために市役所内への専門窓口設置やホームページの充実が必要ではないでしょうか。

部長 所有者の情報把握や相続未登記による連絡不能、建物の老朽化による修繕費負担が課題です。窓口については、県や関係機関と連携し、東京・大阪の移住相談拠点で専門コンシェルジュによる相談体制を既に築いており、今後も充実を図る考えです。

片上 一過性の観光客を移住候補者へ育てるため、国の「ふるさと住民登録制度」の導入を提案いたします。

市長 検討すべき課題もありますが積極的に研究し、移住政策を進めたいと思います。

一般質問



現在の市政・財政状況と 今後のBIG PROJECTについて



奥 聡

現在の市政・財政状況について

奥 令和6・7年度の実質収支におきまして黒字決算となつていますが、この数字は単純に歳入歳出をプラスマイナスした数字なのでしょうか？

部長 歳入と歳出を差引きした後、翌年度に繰り越す事業に係る一般財源を控除した額であります。

奥 黒字決算にするための施策・HOWTO等はいまいますか？

部長 自主財源の確保、歳出人件費、物件費等の抑制を行っていきます。また一番大事な自主財源である市税が乏しいため、徴収部門において、国税徴収経験者を雇用し滞納整理を進め納税の公平性を担保し歳入確保を図る努力に努めております。一方で、歳出におきましては、業務改善の検討により歳出を抑制する機運を高め持続可能な財政運営に努めてまいります。

今後のBIG PROJECTについて

奥 今後、御所市は「健康増進スポーツ施設整備事業」及び「小・中学校の新しい学校づくり」といったBIG PROJECTが予定されておりますが、その進捗状況

況についてお聞かせいただけますでしょうか？

局長 健康増進スポーツ施設整備については、令和7年4月に設計、施工、維持管理、運営業務を一体的に発注するDBO（Design Build Operate）方式で進め、同年9月に本契約を締結、同年10月から設計業務を開始し、令和8年11月末に実施設計が完了予定、令和9年4月から本体建築工事及び外構を施工し、令和10年10月にグランドオープン予定であります。

また、新しい学校づくりについては、令和7年度において、タウンミーティングやアンケート、ワークショップを実施し、本年度において、プロポーザル方式で事業者の選定を行い基本設計、実施設計に入っていく準備を進めており、令和13年度の開校を目指しております。

奥 小・中学校の新しい学校づくりについての総事業費に対する財源措置の内訳はどのようなになっていきますか？

局長 国の学校施設整備に係る補助制度を最大限活用し、本市に有利な過疎対策事業債を積極的に活用する考えであります。財政負担の縮減に努め、後年度の事業負担の平準化を図り、将来世代への負担にも配慮した計画とする考えです。また、建設費や維持管理費を含めたライフサイクルコストの縮減を意識し、必要な機能と事業費のバランスを図ってまいります。

奥 御所市におきましては今後も厳しい財政状況が続くと思えますので、圧縮可能な事業費については少しでも圧縮していただきたいと思います。

修学旅行費の無償化を！ 学用品費へ補助を！



一般質問



川本 雅樹

川本 昨今は物価高騰が続き、子育て世帯の負担は深刻です。特に、修学旅行費と学用品費は保護者の負担が大きいです。現在、御所市は生活保護受給者の要保護者や住民税非課税世帯の準要保護者には、入学準備金、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費を支給しています。

御所市の児童・生徒数は、令和8年5月1日現在1004人で、試算すると修学旅行無償化に要する費用は1287万円、学用品費補助に1580万円、合計2867万円になります。この2867万円というのは御所市一般会計の0.16%に相当し、財政的にも十分検討可能だと思います。子育て世帯の生活支援及び定住促進、人口減少対策、教育の機会均等という観点から市長の見解をお伺いします。

性から検討が必要であり、現時点で直ちに全ての子育て世帯を対象とした無償化には慎重な判断が必要と考えております。

川本 漢字ドリル、計算ドリル、書道セット、朝顔セット、英語のリスニング教材などの教材費は小中学校でも保護者負担です。文科省から保護者等の負担を軽減させるために、彫刻刀や裁縫セットなどは学校備品として整備することを推奨する「通知」が発出されていますが、御所市は検討されましたか。

教育長 国語辞典など共用できるものは、市内各学校で備品として取り扱っており、それ以外のものは今後、精査して参ります。

川本 子どもへの支出は単なる経費ではなくて未来への投資です。憲法26条では義務教育の無償化をうたい、教育基本法第4条には、経済的理由によって修学が困難な者に対する奨学の措置を求めています。市民や子育て世帯の要望に応えていくことが必要です。



物価高騰対策として指定ごみ袋の 一定枚数無料配布または引き換え券の配布を！



一般質問



生川 真也

生川 現在、エネルギー価格の長期的な高止まりや円安基調を背景とした諸物価の上昇は、特に子育て世代や低所得世帯、そして年金収入で暮らす高齢者世帯や単身世帯における困窮は日を追うごとに深刻さを増している。これについて市はどのような危機感を持って現状を認識されているか。

市長 物価高騰により多くの市民の皆様が日々の生活の厳しさを感じられていることと思う。市では国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、速やかに事業を実施することで市民生活を支える必要があると考えている。

生川 従来の所得制限付きの現金給付などでは、対象から漏れてしまう世帯への十分な支援が行き渡らないなど課題がある。すべての世代に公平に恩恵を感じられる生活支援を行う考えは。

部長 国の交付金の性質上、対象者を給付の目的に応じて合理的な範囲とすることも求められる。

生川 すべての世帯に行き渡り確実な経済効果をもたらす施策として、指定ごみ袋の一定枚数無料配布または引き換え券の配布を提案したい。もし市民に2セットまたは3セットのごみ袋を無料配布した場合、手数料収入はどの位の減収が見込まれるか。

部長 仮に大サイズ45Lの袋を配布する場合、減収額は2セットで1067万5800円、3セットでは1601万3700円となる。

生川 少なくとも額ではあるが、市の財政から可能な範囲ではないかと考える。また国の交付金の活用で市の負担も軽減できる。交付金活用の対象としてごみ袋や引換券を配布することは可能か。

部長 これまで市町村で実施された事例を確認していると、課題も多く十分な精査が必要であると考えている。

生川 奈良県内では田原本町が実施している。また平群町では自主事業として今年行っている。物価高騰は先の見えない現状が続いている市民生活のためにごみ袋無料配布は比較的短期間に実現可能な政策だと思う。市長にぜひ検討いただきたい。

市長 今後も国の交付金を活用しながら市民生活を守っていききたい。

WEB アンケート結果の公表

15名
のアンケート

性別構成 人数と割合

■ 男性 8人 (53.3%)
■ 女性 7人 (46.7%)

年代構成 人数と割合

■ 20～30代 1人 (6.7%)
■ 40～50代 8人 (53.3%)
■ 60～70代 6人 (40%)

主な意見はこちら (自由記述より)

- 内容が充実していてとても読みごたえがありました。
- 『ひまわり号のコース見直し』 西回り、東回りとも「かもきみの湯」経由の以前のコースを再検討して貰いたい。
- 御所市の議会内容を分かりやすく伝えて下さりありがとうございます。今後も楽しみに拝見させていただきます。
- 質疑の要約が簡略すぎて、いったいどのような質疑をしているのか伝わらない。議会で何をしているのか？

市議会だよりについて
WEB アンケートの
ご協力をお願いします



広報広聴委員会とは

令和8年5月から、開かれた議会を目指し、全議員で構成する「広報広聴委員会」を設立しました。同委員会は広報部会と広聴部会に分かれ、広報部会では「御所市議会だより」の作成について協議します。広聴部会では、各年度に実施する「意見交換会」の開催について協議します。「意見交換会」の詳細は、次回の議会だよりでお知らせします。

御所市議会は、新たな取り組みを通じて、市民の皆さまの暮らしをより良くできるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長 川田大介 (議長)
副委員長 川本雅樹 (副議長)

広報部会

部会長 丸山 誠
副部会長 生川 真也
部会員 片上 公美
// 齋藤 聡
// 中谷 文雄

広聴部会

部会長 田中 曜平
副部会長 新川 理江子
部会員 奥 聡
// 南 満
// 杉本 延博
// 松浦 正一

あなたの声をお聞かせください!

御所市議会 市民意見交換会

市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指して意見交換会を開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時 10/18 日 **場所** 御所市防災交流館 (ミモーロ) 会議室 **時間** 午後1時30分～3時30分 (受付：午後1時より)

お問い合わせ 御所市議会事務局 ☎0745-62-3001 (代表)
詳細はこちらからご覧いただけます▶



〳 御所市の未来を応援する地域創生音楽イベント 〵

なら御所 音夢フェス

(MUSIC FESTIVAL 2026)

日時 9/19 土 12:30～19:00 **主催** なら御所 音夢フェス実行委員会

会場 御所市民運動公園 (御所市朝町1337) **問合せ先** なら御所 音夢フェス事務局 TEL: 0745-40-0892

※入場にはチケットが必要です




このイベントは、**ひとを元気に! まちを元気に!**をコンセプトに御所市が公募していた市民提案「みんなの夢事業」として昨年度に採択された企画です。音楽・踊り・食文化などを融合させ、世代を超えた交流と地域の誇りを生み出し、市民参加型の文化創出を目指す取り組みとして、市内外から多くの人々が集う「地域活性化のきっかけ」を創出するものです。

編集後記

厳しい暑さが続いておりませんが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。表紙を飾った御所ラグビーフェスティバルでは、多くの選手や関係者の皆さんの熱気に触れ、地域の活力を改めて感じました。

今号では、令和8年6月定例会で審議された議案や9名の議員による一般質問の内容をはじめ、ウェブアンケートの結果や地域イベント情報などを掲載しています。

「議会だよりをいつも楽しみにしています」という温かいお声をいただくことがあり、広報部会一同、大変励みになります。また、紙面づくりや議会についてのご意見・ご感想をウェブアンケートからでもお寄せください。

(丸山)